

1

問1 宗法

問2 墨家

問3 秦王の政は新たな君主号である皇帝を名乗り、度量衡、文字を統一したほか、半両銭と呼ばれる統一貨幣を鑄造した。法家である李斯を用い、実用書以外の書籍を焼却する焚書や、学者を穴埋めにする坑儒によって思想を統制したとされる。北方では匈奴と戦い、長城を修築し、南方では華南に進出した。

問4 皇帝と諸王の対立が深刻化し、呉楚七国の乱が発生した。反乱の鎮圧後、政府は諸王国に介入していき、中央集権的な体制となっていた。

問5 冊封体制

問1 ア アリー イ ムアーウィヤ ウ スルタン エ ワッハーブ

問2 民族を問わずイスラーム教徒は人頭税（ジズヤ）を免除され、土地を持つ者はアラブ人でも地租（ハラージュ）が課せられる。

問3 十二イマーム派

問4 イクター制

問5 ニザーミーヤ学院

問6 マラッカ王国

問7 タージ=マハル

問8 リヤド

問9 サダト

エジプトはイスラエルを国家承認し、イスラエルは第3次中東戦争時に占領したシナイ半島をエジプトに返還するとした。

問10 先進国首脳会議（サミット）

問1

聖書が信仰の最高の権威であるとして、教会を批判したベーメンのフスを異端と宣告して、フスを火刑に処してローマの教皇を正統と認めた。しかし、ベーメンではフス戦争が長く続き、教皇権の衰えは止まらなかった。99 字

ローマの教皇を正統と認めて教会大分裂を終結させるとともに、教会を批判していたベーメンのフスを異端として火刑に処した。しかし、ベーメンではフス派の抵抗が長く続き、教皇権の衰えは止まらなかった。91 字等。

【出題意図】 コンスタンツ公会議の内容とその後の影響について問う。

問2

コッホ

自然淘汰による適者生存を唱えたこの理論は、欧米社会のキリスト教的人間観を大きく揺るがし、自然科学の領域を超えた社会進化論として、帝国主義による弱肉強食の正当化や、人種の優劣を論ずることにもつながった。

【出題意図】 近代科学の発展のなかで、現れたダーウィンの進化論の大きな影響を問う。

問3

エラスムス

問4

ワレサ（ヴァウエンサ）

問5

旧体制復帰をめざす正統主義によりフランスではブルボン王家が復活したが、神聖ローマ帝国は復興されず、オーストリア、プロイセンの一部、各領邦、自由市をまとめたドイツ連邦が成立し、スイスは永世中立とされた。96 字等。

【出題意図】 ウィーン体制によってもたらされた列強の勢力均衡による国際秩序について、その具体的内容について問う。

問6

中距離核戦力（I N F）全廃条約